

令和5年度第2回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和5年10月24日(火) 開会 10時00分 閉会 12時45分		
2 場所	さぬき市立志度中学校 会議室ほか		
3 出席者	市長	大山 茂樹	
	教育委員会	教育長	和田 浩二
		委員	檜原 秀樹 得丸 慶子 多田 俊 西尾 由香 岡田 保
	事務局	教育部長	佐藤 美由紀
		教育総務課長	安倍 潤
		学校教育課長	高西 恵
		生涯学習課長	細川 史朗
		幼保こども園課長	酒井 有紀
		教育総務課副主幹	新納 慶子
	その他説明等のため出席した者	志度中学校校長	細川 昌宏
志度小学校栄養教諭		神野 久子	
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 学校訪問 (2) 給食講話・試食		
5 特記事項	傍聴受付 なし(会場が学校施設のため、傍聴の実施は見合わせた。)		
6 会議内容	開会		
教育総務課長	<p>ただ今から、令和5年度第2回さぬき市総合教育会議を開会します。</p> <p>この会議は原則公開とされておりますが、今回、中学校での開催としておりますことから、学校内の生徒の安全確保等を考慮いたしまして、傍聴は見合わせることにしています。</p> <p>なお、会議の議事録につきましては、後日、公表することとしています。</p> <p>また、本日は、報道関係者による取材を予定しておりますことを、申し添えます。</p> <p>それでは、会議次第に基づきまして、次第2の市長挨拶、続けて、次第3の</p>		

	議事につきまして、進行を市長にお願いします。
市長	(挨拶)
協議・調整事項	
(1) 学校訪問	
①志度中学校の学校運営等について	
市長	それでは、議事に入ります。 志度中学校の学校運営等について、志度中学校校長の細川校長さんから説明をお願いします。
校長	(志度中学校の学校運営等について資料をもとに説明した。)
②授業見学<各教室>	
市長 教育長 教育委員 教育委員会事務局	(校長先導により授業の見学をした。) 3年3組 国 語 (電子黒板、タブレット端末使用)  3年2組 社 会 (電子黒板、デジタル教科書使用)
③市長と教育委員の意見交換<会議室>	
校長	(志度中学校におけるICT機器活用と課題について資料をもとに説明した。)
市長	電子黒板やデジタル教科書を活用した授業の感想やICT機器活用の今後の課題について、どなたからでも意見をお願いします。
委員	授業を見学して、想定していた以上に生徒がタブレットを使いこなしている印象を受けました。国語の授業を見て感じたことは、タブレット上に書き込みをしたり、線を引いているのを見て、画面が少し小さいのではないかということです。部分的に拡大をすれば、全体を見ることができなくなります。ICT機器にはそういった問題もあるのかなと改めて思いました。ただ、教員も同様の悩みを抱えているはずですので、教員が使うべき場面を取捨選択していくことが必要だと思いました。
校長	ICT機器については、「まずは使ってみよう」ということで、先生も生徒も興味を持って、タブレットや電子黒板の活用に取り組んでいます。使い始めたことで、自分で考える場面では生徒に書かす方が効率的であるとか、こういった場面では、電子黒板やタブレットを使う方が能率的であるというように、職員同士が意見を出し合って、議論するようになっています。
委員	ICT機器を活用することで、生徒の授業に対する興味や関心が高まることを期待できます。とにかく、まずは使ってみようという姿勢が大事だと思います。 ただ、書くという作業は、思考力を高める上で重要な事ですので、ICT機器、ワークシート、板書等それらをどのように併用していくかを考える必要があります。
委員	ICT機器を活用すると、学習する上で、調べたい事があれば、必要な資料を素早く取り出し、確認することができます。ICTならではの便利な点です。

	<p>多くの先生方が様々な条件で使ってみて、使う場面を明確にする必要があるのかなと感じます。</p>
委員	<p>使い方については、多くの課題があると思います。活用すべき場面で活用していただきたいと思います。</p>
委員	<p>職員が、様々な実践を持ち合って、その実践について向上し合うことが大事です。デジタルだけではなくアナログも必要であることを前提にした取組を行って、それを校内、さらには、市内の学校に広げて、さらなる課題を見つけ、解決することが必要です。</p> <p>ハード面については、コロナ禍の後押しによって、国が急いでG I G Aスクール構想を推し進めたので、弊害が起きているのではないかと思います。志度中学校では、特別教室で思うようにI C T機器を使うことができないということでしたが、それは、学校現場としては、大変苦慮されていると思います。</p> <p>せっかく、良いものを導入したのに、使うことができない環境では、意味がありません。より活用できるように、お金を投入していただいて、整備を拡充する必要があると思います。</p>
教育長	<p>電子黒板については、2学期から導入していますので、まだ2か月程度しか経過していない中、有効活用していただき、ありがたく思っています。他の学校でも活用している状況を確認しています。</p> <p>電子黒板を利用することで、先生の話が聞ける、授業が効率よく進められる等様々な可能性を感じており、各学校のI C T教育に大きな期待を寄せています。今後は、先生方が実際に使ってみて、様々な課題を解決し、授業の質を上げてほしいと思います。授業が楽しくなると、不登校やいじめ問題の改善にもつながるのではないかと思います。</p> <p>ハード面の整備については、実態をみながら、国や県に要望するとともに、市としても対応していきたいと考えます。</p>
校長	<p>私自身、2学期から授業をしています。生徒と対面するようになって、20年前に比べて、良い子が多くなっています。教員が言ったことを素直に聞くことができる子が多いんです。その一方で、集中力が続かない子が多いのが事実です。そういった状況を打開するためにも、I C T機器等を活用し、生徒の興味を途切れさせないような授業をすることに努めています。</p>
市長	<p>I C T教育については、今は過渡期だと考えています。国が進める方針が正しいとは限りません。子ども達にとって必要なものは何かを考え、より良い環境を整えることが大人の責任であると考えています。</p> <p>確かに、I C T機器を活用することで、多くの場面において早く結論が出ます。ただし、それが一番大事な事ではないはずで、そういったことに注意を払いながら、子ども達にとって充実した授業を展開するための一つのツールとして、使ってほしいと思います。</p>
委員	<p>アナログの良さを前提にした上で、デジタルを導入してもらうことが重要です。</p> <p>市長がおっしゃるように、これまでに、国が決定し、進めてきた事業のう</p>

	<p>ち、現場の実態にそぐわず、いつの間にか消えてなくなったものもあるように思います。</p> <p>今後、デジタルが学校教育の大部分を占めることはないと思います。</p>
市長	<p>ICT教育について、意見を述べましたが、だからと言って、ICT機器を導入することをためらうということではありません。あくまでも、一つの道具として活用していただきたいと考えます。</p>
委員	<p>アナログ、デジタル、それぞれの良いところを取り入れて、学校運営をしていただきたいと思います。</p> <p>先日、ある学校で感じましたが、5、6年生は先生の話をしっかり聞くことができていました。一方、1、2年生は、朝から元気がありません。外遊びが十分にできていない世代だと思いました。親世代がデジタル社会で育った世代だと思っています。我々とは、違った環境の中で育ってきた世代の将来に、危機感を感じています。</p>
市長	<p>デジタル社会で育った子ども達は、答えを出すのが早いように思います。考える習慣がついていないから、結論が早いのではないかと思います。家庭においても同様に、忙しい時に、親は子どもに「早く、早く」と急かしているのので、何事も早くすることが身につけているのかもしれない。</p>
委員	<p>「書く」ことをしないと人間は退化します。ICT機器を使うとすぐに答えが出ます。分からない漢字も調べることができます。「書く」ことで、表現する力や考える力が養われます。ICT機器は素晴らしいものですが、やはり効果的に使うことが重要ですね。</p>
委員	<p>志度中学校が実践している「生徒に対して結果を求める」のではなく、「生徒に考えさせる」という志度中学校の取組は、素晴らしいと思います。安易に先生が答えや方法を伝えるのではなく、答えを導くために考えさせることを実践しています。今後もそういった取組を進めて行ってほしいと思います。</p>
委員	<p>電子黒板を導入して2か月しか経っていないのに、ここまで活用できていることは、素晴らしいと思います。自分も授業を受けてみたいと思いました。</p> <p>ただ、親目線で考えると、先生は効率的になりますが、子どもはテスト勉強などの際に困るのではないかと思います。大部分がロイロやデジタル教科書となるとタブレットの持ち帰りをしていないので、家庭学習ができないように思います。そこが不安です。上手く活用してほしいと思います。</p>
教育長	<p>タブレットの持ち帰りについては、基本的に持って帰ることができるようになっていきます。回線の問題を解消すれば持ち帰れます。</p>
校長	<p>持ち帰りについては、市教育委員会としてのルールが必要です。志度中学校としての持ち帰りのルールを作成していますので、ルール作りの参考にしてほしいと思います。</p>
市長	<p>個人的な環境を改善するのは、難しいと思いますが、せっかく導入しているので、持ち帰りができるようにしていただければと思います。</p> <p>それでは、全体をとおして、教育長の意見をお願いします。</p>
教育長	<p>子どもにとって将来的に必要なのは、人とのコミュニケーション能力と総合</p>

	<p>的かつ多面的に考える力です。電子黒板やタブレットは、そのためのアイテムのひとつとして利用していただきたいと考えています。</p> <p>どの場面でICT機器を使うか、今後、試行錯誤しながら良い方法を見出してもらいたいです。</p>
市長	<p>教育の最終的な目的は、「社会の中で子どもが自立するため」と言いますが、一人ひとり考える「社会」は違います。そのため、最大公約数的なものを教えるのが教育ではないかと思います。そして、子どもが様々なことに挑戦できるよう、大人が環境を整えることが必要であると考えています。</p> <p>子どもを一律に育てることは、難しいと思います。最終的には、個人個人にすばらしい教育が行き渡るよう考えていただいて、それを市としても応援していきたいと思います。</p>
市長	<p>それでは、時間になりましたので、ここで令和5年度第2回総合教育会議を閉じさせていただきたいと思います。</p> <p>委員の皆様、また校長先生、ありがとうございました。</p>
(2) 給食講話・試食	
①講話「さぬき市の学校給食における地産地消について」	
市長 教育長 教育委員 教育委員会事務局	(神野久子栄養教諭からさぬき市の学校給食における地産地消について説明を受けた。)
②食事	
閉 会	
教育総務課長	以上をもちまして、令和5年度第2回さぬき市総合教育会議を閉会します。